

わたしの名は情婦（1949）

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 87分

初公開日 1949/08/22

【解説】

依田義賢のオリジナル脚本を森一生が監督し映画化。数多くの時代劇を撮り続けた森が、占領軍の方針に従い製作した現代劇。強盗犯の情婦と報道され好奇の目にさらされる女性の悲劇を描く。

安原妙子の家に警察がやって来る。恋人の高田から預かったバッグには多額の金が入っており、高田は麻薬強盗の罪で逮捕されてしまう。新聞記者の中野は妙子の写真撮影と取材に成功。妙子は「犯罪者の情婦」として報道されてしまう。責任を感じた中野は、妙子が静かな場所で暮らせるように手を尽くす。しかし妙子は酒をあおる日々を送るようになっていた。中野は妙子を、いところがある琵琶湖へ連れて行く。清らかな空気と水に触れ、妙子は元気を取り戻すのだが…。

【クレジット】

監督 森一生

企画 辻久一

脚本 依田義賢

撮影 石本秀雄

美術 中村能久

音楽 深井史郎

出演 水戸光子

二本柳寛

菅井一郎

沢村貞子

阿部九州男

荒木忍

上田寛